

建設地	： 沖縄県今帰仁村	竣工	： 令和3年10月	敷地面積	： 472.10㎡
地域区分	： 8地域	用途	： 専用住宅	延床面積	： 117.30㎡
設計者	： (有)門	構造・階数	： 鉄筋コンクリート造 一部 木造・地上1階	建築面積	： 161.15㎡

## ■提案の概要

○豊かな自然環境に恵まれるとともに、世界遺産に登録された城跡のある今帰仁村という歴史文化の「伝統的集落」に属した敷地において、低く抑えた屋根形状や深いアマハジ、南入りの配置など、沖縄の風土と調和した空間デザインによって地域の景観に配慮した住宅。

○亜熱帯海洋性気候の高温多湿な蒸暑地域への対応として、南面と東面の大開口と反対側に設けた換気窓による年間を通じた通風への配慮と調湿性のある漆喰などによる湿気対策とカビ対策を講じている。

○強い日射に対しては、深い軒庇や板目透し貼りにより日射遮蔽を行っている。また、台風への対策として、混構造により堅牢性に配慮するとともに、飛来物による破損防止のための雨戸を設けている。

○日々の営みの中に、無形民俗文化財に指定されている祭祀などの風俗習慣や、各集落で行われる豊年祭といった多くの伝統芸能などが受け継がれ、地域コミュニティが盛んな地域であり、これらに対応するため、多くの知人の来訪に応じた空間づくりや室内環境等にも配慮している。



駐車場の軒庇からアマハジまで続く水平ラインが強調された外観





南面に設けたハイサイドライトと大きな窓



リビングと一体的につながる開放的な緩衝空間

■地域の気候風土への適応・環境負荷低減対策

凡例：気候風土への適応 

環境負荷低減対策 

□越屋根

LDK 上部の越屋根に設けたハイサイドライトにより採光と通風を確保している。



越屋根

□続き間

LDK、和室、寝室の続き間とし、引戸で仕切ることにより空間の可変性に配慮している。



続き間

□緩衝空間

南面にアマハジと木製デッキを設け、屋内外の間領域として温熱的な緩衝空間を形成している。



緩衝空間



大きな窓

□大きな窓

南面に大開口を設けることで、高温多湿な蒸暑地域における年間を通した通風に配慮している。



□複数の窓の位置による通風への配慮

越屋根のハイサイドライトと和室の地窓との組み合わせで、上下温度差換気の促進による排熱を図っている。



複数の窓の位置による通風への配慮

□漆喰による塗壁

沖縄県産の漆喰を用いた塗壁により、調湿性を高めている。



漆喰による塗壁

□敷地等建物周囲の環境配慮

北西面に、板目透し貼りを設置することで、日射遮蔽を行うとともに防犯にも配慮している。



敷地等建物周囲の環境配慮



周囲と調和・連担した外構

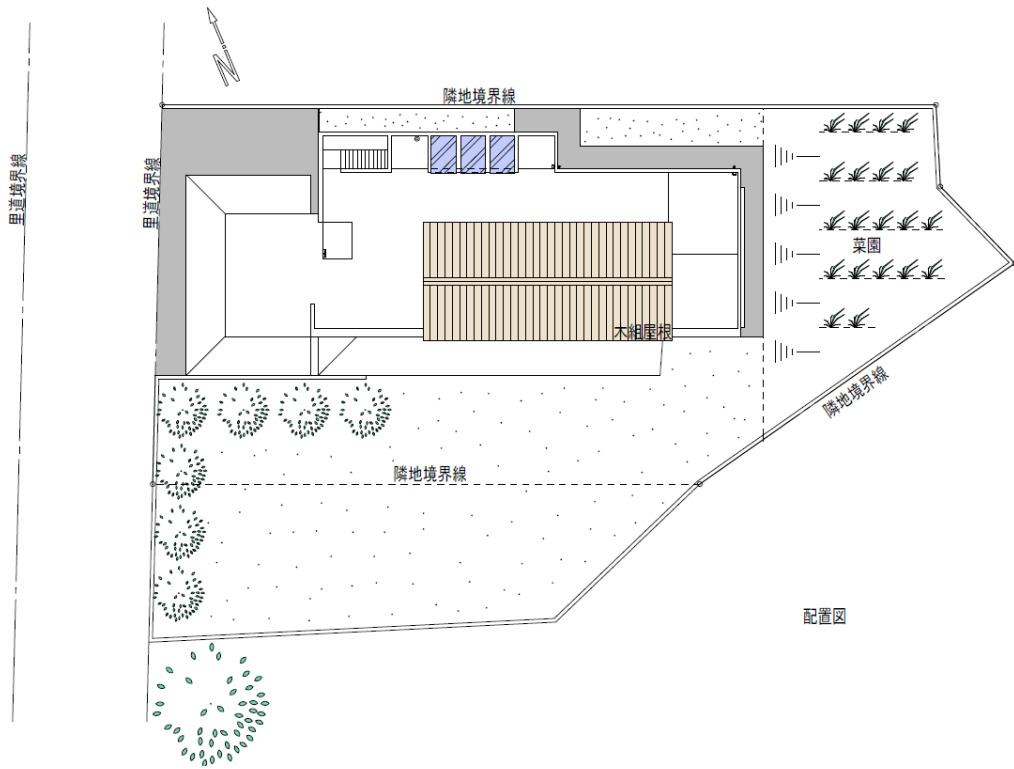
□周囲と調和・連担した外構

花ブロックの隣地塀を設け周囲との調和を図っている。

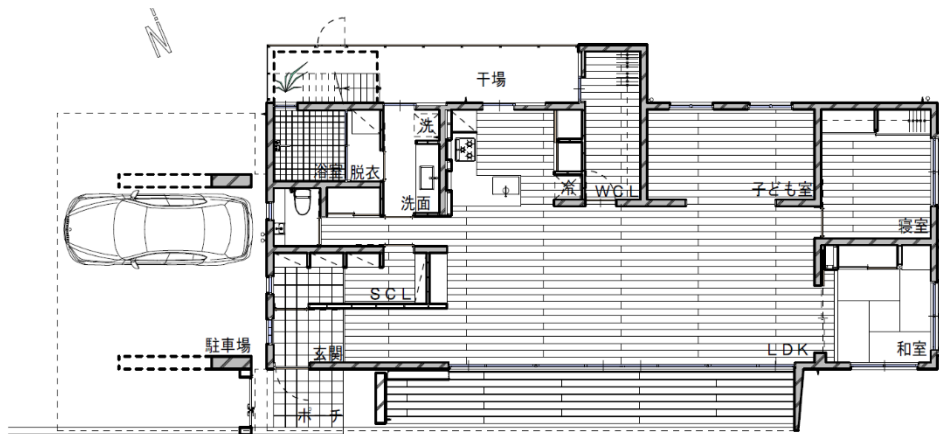


■エネルギー性能（採択時）

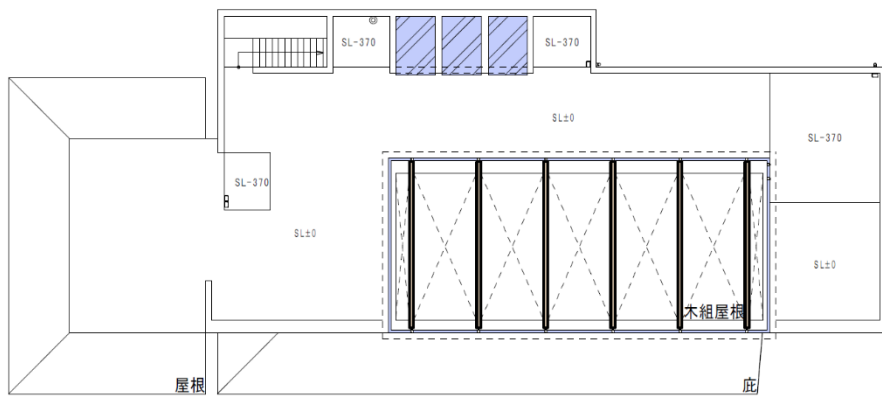
項目	基準値	設計値
評価方法	Web プログラム 気候風土適応住宅版による評価	
地域区分	8 地域（沖縄県今帰仁村）	
外皮平均熱貫流率（ $U_A$ 値）	基準なし（ $\eta_{AC}$ ：6.7）	2.16（ $\eta_{AC}$ ：5.4） W/（ $m^2 \cdot K$ ）
一次エネルギー消費量	85.9 以下	77.9 GJ/（戸・年）
一次エネルギー消費性能（BEI）	1.0 以下	0.88



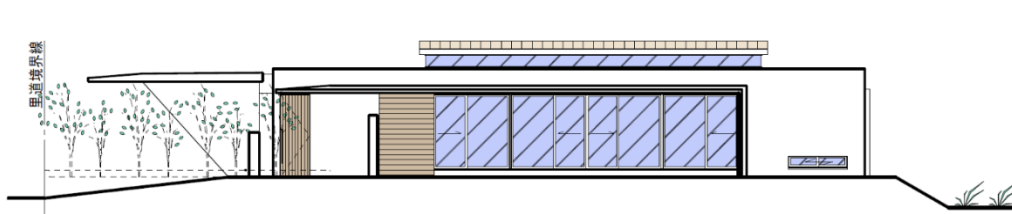
配置図



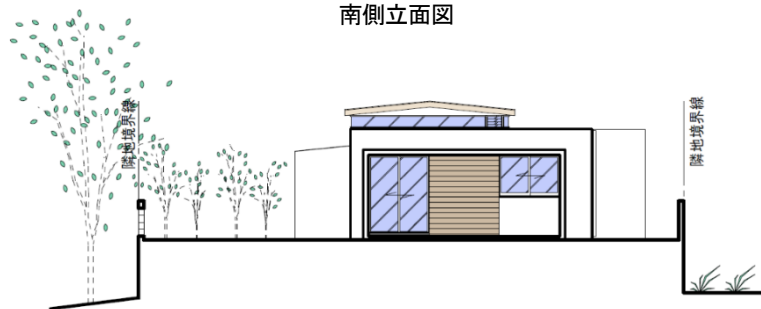
1階平面図



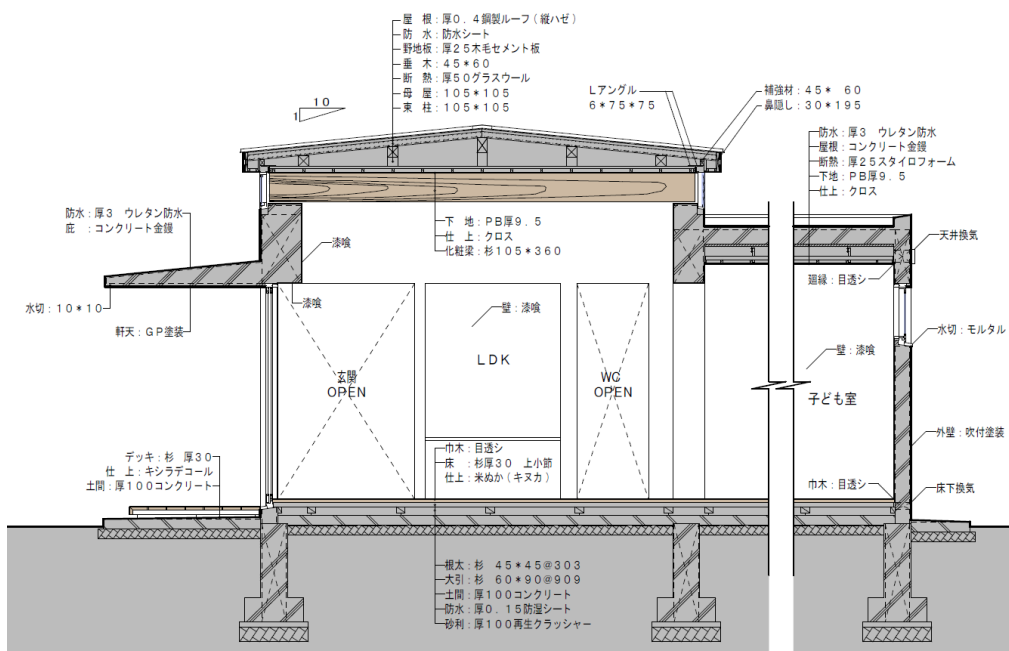
1階上部平面図



南側立面図



東側立面図



矩計図

### ■お施主様の声

沖縄の伝統を継承する間取りや木材を使い、効果的な光や風の流れを導入した家づくりをしている門さんに依頼しました。人が集まる場所は空間が大きく、家事などを行う場所は小回りがきく空間構成としています。

越屋根のハイサイドライト、地窓から光と風が通る心地よさ、木の梁が見える高い天井の解放感を日々感じながら生活しています。天気の良い日には、ウッドデッキからの景色を眺めながら過ごしています。雨の日でも深い庇によりリビングの窓を開けることができ、漆喰の塗り壁によって湿気を感じることもありません。

木製建具に採用したガラスの取手は、高窓から射し込む日の光や照明の光を反射し美しく輝きます。

沖縄の野菜や果物の畑づくりや子供が走り回れる庭づくり、電気を使わない省エネ生活を家族で楽しみたいと思います。

### ■設計者の声

風通しがよく湿気が溜らない家づくりや、暴風雨から設備機器を守るための設置場所に配慮しました。また、リビングに大開口を設けることで通風経路を確保するとともに、リビング上部に設けた越屋根のハイサイドライトで換気と排熱、採光を行う計画としています。光と風をミックスすることで快適性の向上、日光利用による省エネを図りました。調湿性については、沖縄県産の漆喰、また国産の無垢の杉材を用いることで対応しています。

沖縄は日射が強いため、西側に駐車場と水回り空間を配置、熱的な緩衝領域を設けることで、日射遮蔽効果のある空間構成としています。合わせて住宅内部の通風経路を想定して開口部の位置を決めています。越屋根部分は木造の屋根とし、材料の交換による長寿命化を図るとともに、RC造が多い沖縄における木造の架構の技術継承の推進に努めています。